

(記入例①)

(様式D)

国語・数学実態把握表

学校名 (〇〇市立〇〇中学校又は宮城県立〇〇支援学校)

生徒氏名 (利府 太朗)

記載者氏名 塩竈 一郎

【国語】

実態に近い番号を記入してください。

1 聞く

番号	内 容
① 音や呼名に反応する。	② ・日常生活における簡単な指示は言葉だけでもほぼ理解できる。理解を深めさせるためには、実際に見本を示すことが必要である。
② 簡単な指示を理解する。	
③ 話や説明を聞いて理解する。	

2 話す

番号	内 容
① 言葉掛け等に応じ、声や身体表現で返事をする。	② ・日直の司会など、繰り返し学習を行うことで「今日は〇〇しました。〇〇が楽しかったです。」といった内容を支援を受けながら発表することができる。
② 簡単な受け答えをしたり、短く自己紹介をしたりする。	
③ 経験したことを相手に分かるように話す。	

3 読む

番号	内 容
① 絵や写真、テレビ等に興味を示す。	③ ・平仮名であれば原稿用紙1枚程度の文章を、支援なしで音読または黙読ができる。
② 平仮名で書かれた語句を読む。	
③ 平仮名、漢字まじりの文章を読む。	

4 書く

番号	内 容
① なぞり書きをする。	② ・名前、住所、学校名を手本を見ながら平仮名で書くことができる。
② 自分の名前や語句を平仮名あるいは漢字で書く。	
③ 経験したことを相手に分かるように文章で書く。	

【数学】

1 数・計算

①	数えるのは難しいが1対1の対応ができる。	番号	内 容
②	10くらいまでの数を数える。いくつかの数字を読む。	②	・1対1対応で50程度まで正確に数えることができる。計算機を使い、簡単な計算ができる。
③	簡単な加減法の計算をする。(具体物等の使用可)		
④	2～3桁の加減法の計算をする。簡単な乗法の計算をする。		

2 金銭

①	金種の区別は難しいが、買い物にお金が必要なことを理解している。	番号	内 容
②	いくつかの金種が分かる。	②	・1円から1,000円までの金種が区別できる。「500円をお店の人に渡してください。」という指示が分かり、レジで支払いをすることができる。
③	金額のお金を渡して、お釣りをもらう買い物ができる。		
④	必要な金額をそろえて支払う買い物をする。		

3 時刻

①	時計を読むのは難しいが、学校などのスケジュールにそった生活ができる。	番号	内 容
②	デジタル時計を読む。	②	・アナログ時計を読むのは難しいが、デジタル表示であれば、〇時〇分と読み取ることができる。
③	アナログ時計を読み、生活に利用する。		
④	バス・列車の時刻表を利用する。		

4 図形

①	丸や四角の型はめをする。	番号	内 容
②	円、正三角形、正方形の見本を見て同じものを選ぶ。	③	・ジグソーパズル等は40ピース程度のものを一人で仕上げることができる。
③	様々な図形を形、色、大きさなどで分類する。		
④	円、三角形、四角形などを作図する。		

【その他】

国語・数学に関し、上記の項目で網羅できなかった内容について、御自由にお書きください。